

2020・教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ 「環境体験教室」			
題名・副題	どんぐりを育てよう（親子教室） ～地球温暖化と森林の役割～			
月日・時間	11月14日（土）10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・2階実験室			
部会・講師名	グリーン会 大岩俊雄	参加数	7組 14名	講師数 4名
写真				
	地球温暖化と森の役割について説明		どんぐりを手に取って種類などを学ぶ	
				
	プランターにどんぐりの苗床作り		どんぐりの実（種）を植え付け	
成果解説	<p>この教室は、樹木の種（たね）を植え、育てる楽しさを体験するとともに、地球温暖化とは何かを知り、森林が温暖化を防ぐことに役立っていることを学びます。</p> <p>始めに、森林は地球温暖化の原因物質である二酸化炭素を吸収するので温暖化を防ぐ役割について分かりやすく説明しました。小学1～2年生の児童には、やや難しかったかも知れませんが、森林と温暖化との関係を理解するきっかけになったと思います。次に、植物の繁殖方法やどんぐりの種類について説明、どんぐりの玩具としてヤジロベーや独楽（こま）について解説した後で、どんぐりとつまようじで独楽作りに挑戦しました。</p> <p>今回のテーマであるどんぐり育ての体験は、どんぐりの育て方について説明した後、親子でプランターに赤玉土、培養土を入れ苗床を作って、2種類のどんぐりの実（種）を植えました。プランターは自宅へ持ち帰って、水やり、発芽など、どんぐりを育てる体験を楽しみます。</p>			